

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	4270800271
法人名	医療法人社団 壮志会
事業所名	グループホーム らくらく
所在地	〒859-4752 長崎県松浦市御厨町里免397 (電話) 0956-75-0123

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年11月13日	評価確定日	平成20年12月10日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7 人, 非常勤 0 人, 常勤換算	7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,100 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)		無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		790 円

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79歳	最低	61歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	押淵病院 ・ 高島歯科医院
---------	---------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体が医療法人であることから、入居者や家族の医療に関する期待は大きく、ホームも期待に応えるべく医療との連携を密にされた中で安心を提供されている。安心を上回るホームの自慢は、家庭的なホーム環境の中で、入居者と職員が寄り添いながら穏やかな日々を営んでいることである。訪問した日の昼下がり、リビングでは入居者と職員が行事写真を掲示用に構成作業されており、写真を見ながら思い出話に花を咲かせ、頬を赤らめたり、笑みを浮かべたり楽しい思い出は、ホームに笑顔と和みをもたらしており、人の温もりが感じられるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善計画シートに改善目標と具体的な改善計画、実践内容を明記され、職員への意識付けと現状把握に反映した取り組みをされている。運営推進会議と契約書に関しては、運営推進会議の開催と契約書に入居者の権利と義務を追加記載されて改善に繋がっている。地域に密着したホーム作りでは、地域行事への参加やホーム行事の広報、中学校の体験・触れ合い学習の受け入れなど取り組まれているが、地域との連携の可能性には充分余地を感じられている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価票をコピーして全職員に配布し、職員1人ひとりの記載内容を管理者がまとめられ、今年度のホームの自己評価票とされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>10月に3回目の運営推進会議を開催されている。法人内で当該ホーム以外に2ユニットのグループホームが存在しており、運営推進会議も時間をずらして同日開催されている。運営推進会議メンバーと連携した取り組みで直近の例では、ホーム入居者の作品を地域の公民館祭りに出品したい意向を伝えて、出品期限など応募方法や当日の席の確保など参加につながる配慮を受けている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問時間がホームの食事時間と重なった時は、家族の方にも食事を勧め、共有した時間を過ごすことで入居者や職員との垣根をなくす環境・雰囲気作りから、何でも言い易い関係作りを目指されており、信頼関係の構築に努められている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの敬老会への参加呼びかけのポスターを御厨駅管理の薬局などに貼っていたが、地域行事と重なり成果は見られなかった。御厨公民館祭りへは入居者の作品を出展し、外出可能な入居者と同行可能な職員が連れ立って見学に出かけられたり、御厨のおくんちの蛇踊りを駅前広場に見学に行かれて餅拾いに参加されるなど、今年目標【外出の支援】を実践されている。又、入居者の都合で中断されていた校区の学生への登校時の挨拶・声かけ活動の再開を検討されている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人グループホームの共通理念とは別に、【楽しく自由にありのままに】をスローガンに、今年は外出の支援に力を注ぎたい旨を家族にも伝えて協力を呼びかけられ、まずは地域行事や学校、家族との関わりから地域密着への拡がりを探られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者の趣味や経験、特技をホーム生活の中で発揮できるように環境づくりや場面作りで支援され、入居者と職員が支え合いながら個性、趣味を活かした共同生活を営まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの敬老会への参加呼びかけのポスターを御厨駅管理の薬局などに貼っていたが、地域行事と重なり成果は見られなかった。御厨公民館祭りへは入居者の作品を出展し、外出可能な入居者と同行可能な職員が連れ立って見学に出かけられたり、御厨のおくちの蛇踊りを駅前広場に見学に行かれて餅拾いに参加されるなど、今年目標【外出の支援】を実践されている。又、入居者の都合で中断されていた校区の学生への登校時の挨拶・声かけ活動の再開を検討されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票をコピーして全職員に配布し、職員一人ひとりの記載内容を管理者がまとめられ、今年度のホームの自己評価票とされている。又、改善計画シートに改善目標と具体的な改善計画、実践内容を明記され職員の意識付けと現状把握に反映されている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	10月に3回目の運営推進会議を開催されている。法人内で当該ホーム以外に2ユニットのグループホームが存在しており、運営推進会議も時間をずらして同日開催されている。運営推進会議のメンバーと連携した取り組みで直近の例では、ホーム入居者の作品を地域の公民館祭りに出品したい意向を伝えて、出品期限など応募方法や当日の席の確保など参加につながる配慮を受けられている。		

グループホーム らくらく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	提出や報告で訪ねることはあるが、なかなか連携までの一歩が踏み出せない状態である。	○	県内の市町村で取り組みされている【認知症サポーター100万人キャラバン】についての松浦市の取り組み状況などの問い合わせや松浦市の活動内容に対してホームの力を発揮できることを意思表示されるなど連携の足がかりを見つけれられる行動を起こされることが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時の報告に加えて、携帯電話を持たれている入居者と家族等の通信支援で相互の安心に繋がられている。又、季節的な取り組みとして年賀状作成を検討されており、入居者の能力に合わせて職員がサポートしながらの完成を目指されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時間がホームの食事時間と重なった時は、家族の方にも食事を勧め、共有した時間を過ごすことで入居者や職員との垣根をなくす環境・雰囲気作りから何でも言い易い関係作りを目指されており、信頼関係の構築に努められている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	年に1回、ホーム間での職員の異動はあるが、法人の行事などを通して入居者と他の職員が触れ合う機会があるので多少の馴染み関係はできている。現在、ホームの入居者で職員を名前で呼ばれる方は半分くらいなので、親近感や信頼感につながる取り組みとして、安全面に配慮した名札の代用を検討中である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた該当研修の受講は復命対応されている。外部研修への自主的参加に当たっては、開催地や時間帯などに地域的制約が加わり、職員の意欲の減少に繋がっていることは否めない。内部研修は、法人内で計画的又は、随時の研修をされているので受講の機会は確保されている。訪問した日もマナー講習が日勤の勤務終了後に開催されている。	○	職員の自主性や自己研鑽に委ねられた環境の中でも意識の高い職員や受講意欲のある職員等が存在して情報提供されているので、今後も情報提供しやすい環境づくりと、その情報を基にホーム内での学習意欲の取り組みが途切れることなく継続されることが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近年、市のアドバイスにより、市内のグループホームに運営推進会議が発足している。運営推進会議開催等についての説明会の時に、他のグループホームとの接触は図られてはいるが、継続した交流にまでは至っていない。又、松浦市にはグループホーム連絡協議会組織が結成されていないこともあり、介護支援専門委員協議会の交流と他のホームへの「たより」の配布を除けば、組織活動的な取り組みには至っておらず、殆どが職員の個人的な情報交換が主流である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の施設等の連絡は密にされており、特に、【歩行可能な方や認識度が高い方】には入居に備えた生活リハビリの取り組みが可能な限り実践されている。同時に、ホーム見学や一部体験などホーム生活を知ってもらう取り組みで入居者や職員との面識にも繋がっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の傍らで寄り添いながら傾聴し、可能な限り時間をかけた話しかけで入居者とのコミュニケーションを図られており、新しい情報や変化等による職員の気づきはモニタリングやアセスメントの取り直し等に反映されている。入居者の特技や趣味を活かした取り組みに職員の知識をさりげなく取り入れており入居者の創造性と意欲につながる支援もされている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との関わりや時間をかけたコミュニケーションを通して、大まかではあるが本人の意向や希望などの把握又は、推測をされた中で、声かけや様子観察で無理強にならないように努められている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン会議には、参加可能な家族や必要の度合いに応じた要請で家族の参加を頂き、家族や職員の意見、アイデアをケアプランに反映されている。又、入居者の状態観察申し送りノートの活用と朝夕の口頭での申し送りで職員間の情報の共有と統一したサービスの提供に努められており、ケアプランの作成にも反映されている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	2人の職員が3人の入居者を担当しており、随時のモニタリングと複数の職員の目線で作成されたケアプランの案を基に、3ヶ月に1回又は必要時の見直しがされている。日々のプランチェック表でプランの妥当性や見直しの時期を把握されており、家族や職員と話し合う中でプランの更新や見直しに繋がっている。新プランについては青色で表示・記録されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療の専門科受診の同行や寺社参りなどの特別な外出の支援をされている。又、帰宅願望の強いときや自宅に気がかりなことがある場合などは、本人と職員が連れ立って自宅訪問し、本人の納得や安心に繋がるような支援を心がけられている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後もかかりつけ医の継続受診の支援はされているが、地域外の受診時の同行は、基本的に家族の対応に委ねられている。特に、複数の医療機関受診の入居者の場合、家族、医療機関、ホームとの情報の連携・共有には注意を払うよう努められている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	病院受診を前提に、医療の必要がなければホームでの看取りの準備はされており可能である。すでに看取りの指針は作成されており、職員の看取り介護の学習も取り組まれ、看取りの実践経験もされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりのこれまでの社会性や経歴、思いに応じて声かけの工夫をされている。訪問した日も日勤帯の勤務終了後に法人内で「マナー講習会」が開催されている。又、記録物などの個人情報に関する取り扱いも慎重にされており、特定の場所で管理・保管されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	詩吟をされていた入居者は屋上で発声練習を自主的にされており、絵画に興味をもたれている入居者は常にスケッチできるように自分の指定席に鉛筆と下書き用の紙を用意されているなど、空いた時間を自分の趣味などに活かせる環境を提供され、職員は優しく希望に沿った見守りの支援をされている。		

グループホーム らくらく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中もテレビをつけられており、入居者と職員がひとつのテーブルを囲まれ和やかに食事を楽しみながら、テレビのニュースを受けて経済問題を話題にされたり、身近な出来事を面白おかしく話されており、楽しい食事風景であった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	湯船で十八番のトコトン節を鼻歌混じりに歌われるときは、リラックスした気分で入浴を楽しんでいただけていると自負されている。又、入浴拒否者に対しては日を改めて入浴支援されており、清潔保持にも配慮されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の趣味や生活パターンをホームの生活の流れに取り入れられており、花の水遣りや洗濯物たたみ、テーブル出し、朝の屋上散歩時に職員と一緒に洗濯物干しなどタイミングを見計らった役割支援などで本人の自信回復や張り合い、喜びが日々の生活に活かせる取り組みをされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	今年度の目標に【外出支援】を挙げられており、家族にもそのことを伝えられ、家族の協力も得ながら外出の機会作り、実践に繋がっている。週に1回の娘宅への宿泊、家族との外出、ホーム行事で外出の時には、車酔いのある入居者は自宅で家族と過ごしてもらうなど家族とホームが一丸となった外出支援の取り組みをされている。又、条件が整わず外出できない人も、リビングからウッドデッキへ出ることにより外気に触れたり開放感を満喫できる様な環境整備もされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの前後に国道と鉄道が走っていることもあり、安全を優先に玄関への施錠をやむなくされている。拘束感を少しでも和らげるためウッドデッキの増設や階段昇降口に暖簾風に鈴を垂らし入居者の行動把握を前提に屋上への出入りも開放されている。その他に、台所の流し上の袋戸棚に鏡をつけてあり作業をしながらでも入居者の居場所確認等につながる創意工夫がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人の参加・協力を得た避難訓練の実施は運営推進会議でも取り上げられており、ホーム側でも意識を持たれ検討されている。又、昨今の社会情勢を反映した災害対策も範疇に抑えて、持ち出し品や備蓄などホームとして入居者のライフラインの確保につながる取り組みも併せて検討されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の食事摂取量や飲水量にも気を配り、記録を通して栄養バランスの把握にも努められている。食事摂取量に問題あるときは、医師や家族とも相談して、食事摂取の補食として経口栄養飲料を併用して体力の快復・維持に繋げられ、嚥下障害や口腔機能に問題ない場合は、できる限り食事を通じた栄養摂取心がけられている。また、夜間の水分補給に備えて居室毎に配茶の提供をされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームの家庭的な環境は入居者自身の自宅と思われるほど、居心地の良い共用空間作りがされている。ローカル線の電車の音や窓越しの採光は1日のリズムを提供し、台所の調理音や匂いは五感への刺激となり、殆どの入居者がリビングのお気に入りの場所で横になりテレビを見られたり、親しい人同士会話を楽しまれており、寛げる場所となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、どの部屋も入居者の個性や趣味、これまでの生活環境等が活かされており、【自分の城】という言葉で連想させる居室環境づくりである。</p>		